

トレンガヌ州での現地調査案内

河野元子*

マレー半島東海岸トレンガヌ州において調査する場合も、正式には調査許可証とプロフェッショナル・パスを取得する必要がある¹。調査許可証がないと、資料の閲覧や入手ができないことも少なくない。本稿では、このような事情にも目配りしながら、同地でのフィールドワークや文献調査において、アクセスが必要かつ有益と思われる諸機関について紹介する。現地情報も簡単に触れるので、調査計画の参考にされたい。

1. 政府機関

(1) トレンガヌ州経済企画局: Unit Perancang Ekonomi Negeri/Economic Planning Unit

調査許可に関する手続きを担当しているのは、トレンガヌ州庁舎(Wisma Darul Iman) 12 階にある州経済企画局(EPU)の Makro Ekonomi 部門である。担当官と面談した後、担当官が必要に応じて諸機関への紹介状を書いてくれる。この紹介状と調査許可証は、官公庁での資料の閲覧・入手に必携だ。また、マレーシアのカウンターパート(受け入れ大学や機関)からの紹介状も用意しておくといよい。調査のはじめでこれらの紹介状を用意するのが難しい場合は、指導教官からの紹介状を用意したほうがいい。紹介状がある

と格好の身分証明書となり、公的・私的機関はじめ村での調査にも大いに役立つ。国際学生証を持っていれば、それも有益だ。

EPU には付設図書室(Makro Ekonomi 部門担当)がある。整理が十分でなく雑然としているが、開架のため自由に資料を手にとれる。60年代以降の予算・決算書、年次報告書、広報、開発関連資料などトレンガヌ州の行政資料が閲覧でき、貸出し可能な資料もある。

[所在] Tingkat 12&13, Wisma Darul Iman, Jalan Pejabat, 20503 Kuala Terengganu.

[Tel] 09-6231957 [Fax] 09-6246989

[開] 日～水 8:00～4:45、木 8:00～4:30(昼休みあり)

[休] 金、土、毎月1日、祭日

[URL] <http://trgweb.terengganu.gov.my/web/dinamik/intro?jab=2>,

pupen@terengganu.gov.my

(2) 漁業関連諸機関

州都から南へ約 15 キロの遠洋漁業の拠点 Chendaring 港には漁業行政機関が集まっている。連邦政府管轄のトレンガヌ漁業局(Jabatan Perikanan/Department of Fishery)、東南アジア漁業開発センター・マレーシア支部

¹ 篠崎香織「調査許可証とプロフェッショナル・パスの取得方法」JAMS News 第 32 号参照。

* 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程

(Southeast Asian Fisheries Development Center、SEAFDEC)、さらに漁業開発公社 (Lembaga Kemajuan Ikan Malaysia/Fisheries Development Authority of Malaysia、LKIM)がある。SEAFDEC 内には図書室があり、漁業・漁村研究に関心のある人には有益であろう。SEAFDEC および漁業職業訓練校には JICA から日本人が派遣されている。

2. 資料収集機関

(1) 測量・地図局トレンガヌ支局: Jabatan Ukur dan Pemetaan (JUPEM) Terengganu

州庁舎の向かいの建物は、連邦政府の出先機関が入っている総合庁舎 (Wisma Persekutuan) である。その7階に地図の売店があり、州レベル(20万の1)、地域レベル(5万分の1)、州都周辺地図(1万分の1)とトレンガヌの概況調査に必要な地図が簡単に入手できる。さらに、植民地時代の測量をベースとし、現在まで更新され続けている詳細な土地区割り図がある。これは地図から現地の様子がみてとれる大変有益な資料で、購入も可能である。地図の値段は、航空地図など特殊なものを除けば、一枚5リンギから10リンギである。窓口のスタッフは、地図に熟知しているばかりでなく、対応もよい。

なおここで紹介したトレンガヌ関係の地図は、土地区割り図を除き、首都クアラルンプールにある地図局本部でも入手可能である。本部には図書室が付設しており、古い地図の閲覧もできる。またマラヤ大学人文学部地理学科の図書室に

は最新の地図から古い地図まで揃っており、地図局で入手しようとするとな面倒な手続きが必要となる制限付きの地図も所蔵されており、非常に充実している。

【所在】 Tingkat 7, Wisma Persekutuan, Jalan Sultan Ismail, 20578 Kuala Terengganu.

【Tel】 09-6221144 【Fax】 09-6237188

【開】 土～水 8:00～4:45、木 8:00～4:30 (昼休みあり)

【休】 金、土、祭日

【URL】 http://www.jutr.gov.my/index_bm.cgi、pengurusan@jutr.gov.my

(2) 国立文書館トレンガヌ・パハン分館: Arkib Negara Cawangan Terengganu-Pahang

総合庁舎12階には、国立文書館の分館がある。エレベーターは11階止まりであるため、そこから階段を利用して1階上ることになる。

閲覧には EPU からの調査許可証が必要となる。登録手続き後、1年間有効の利用証が発行される。以前は調査許可証に記載してある調査期間と関係なく来館時から1年有効の利用証が機械的に発行されていたが、最近では調査許可証に記載してある調査期間との連動を気にかけている様子だ。マレーシアでは手続きなどが突如変更になることが多いので、フレキシブルに対応されることをお薦めする。

この分館には、独立後の行政資料を中心に、王族関係・日本占領期などの歴史資料、写真・

ポスター・地図・ビデオなどトレンガヌ州とパハン州に関する史資料が所蔵されている。資料の閲覧はやや面倒で、資料目録を参照し、資料 1 件につき閲覧申請書を 1 枚記入して資料を請求する。請求できるのは基本的に 1 回 5 件までである。複数の建物に分散して資料が保管されているため、申請から資料受け取りまでかなりの時間がかかる。

オリジナル資料をはじめ文献類は複写が可能である。複写代は基本的に本館に準じる。

【所在】Tingkat 12, Wisma Persekutuan, Jalan Sultan Ismail. 20578 Kuala Terengganu.

【Tel】09-6221912/6223924

【開】土～水 8:00～4:45、木 8:00～4:30(昼休みあり)

【休】金、土、祭日

【URL】<http://arkib.gov.my> 分館独自のサイトはない。本館のものを参照されたい。

(3) トレンガヌ州立図書館 : Perbadanan Perpustakaan Awam Terengganu

トレンガヌ大橋のたもとに立つイスラーム様式を模した白とブルーの一見立派な建物が州立図書館である。2002 年に手狭を理由に、街の中心部から現在の場所に移転した。中央入口の正面奥に総合案内がある。利用時はここで身分証明証などを預け、荷物をコインロッカー(1リング)に入れる。会員証の発行もできるが、マレーシア長期滞在者に限られている。詳細は窓口で確認さ

れたい。

「郷土資料室 KOLEKSI TERENGGANU」には、トレンガヌに関する一般書籍や州政府刊行物、トレンガヌを研究対象とした学士・修士論文が所蔵されている。蔵書は決して網羅的ではないが、基本的な資料を収集するには有益であろう。特筆すべきは、70 年代後半からのトピック別のかなり詳しい新聞切抜き(トレンガヌ地域)があることだ。資料室は閉架式で、カウンターに添えつけてあるリストを利用して見たい資料を請求する。複写は 1 枚 10 セントである。

アクセスは至極不便である。近距離を走るミニバス(スプランタキール方面行途中下車)があるが運休中で、運行していても本数は少ない。タクシーで街の中心部から約 10 分で、8 リング程度である。帰りもタクシーを呼ぶことになるので、タクシーステーションの電話番号または運転手の携帯電話番号を控えておくことをお奨めする。

【所在】Jalan Kemajuan, Padang Hiliran, 21572 Kuala Terengganu, Terengganu.

【Tel】09-6221100/6220052 【Fax】09-6221534

【開】土・月・水 9:30～21:00、日・火 9:30～17:15、木 9:30～13:00

【休】金、祭日

【URL】<http://www.trglib.gov.my>, ppat@trglib.gov.my

(4) トレンガヌ州立博物館 : Muzium Negeri Terengganu

州立博物館は、市の中心部から西南へ約7キロの場所にある。手入れの行き届いた広い庭に、マレー風伝統住宅を模した本館、海洋館、伝統民家などが点在する。歴史・イスラーム・習俗をはじめトレンガヌ州の産業にかかわる展示室がある。資料室が併設され、文献や写真類が所蔵されている。州立図書館よりさらに遠いが、ミニバスが近距離バス・ステーションから出ている(片道70セント)。ただし本数が少ないので、時間に余裕がない場合はタクシーを使うほうがよいだろう。タクシーステーションから約10リングである。

【所在】 Bukit Losong, 20566 Kuala Terengganu.

【Tel】 09-6221444

【開】 土～木、祭日 9:00～5:00

【休】 金、イスラーム祭日

【URL】 <http://www.muzium.terengganu.gov.my>

3. 現地情報

クアラルンプールからトレンガヌへは、クアラルンプール北部のプトラ・バスステーションから朝・夜発車する長距離バス(片道約25リング)を利用

するか、KLIA からマレーシア航空やエア・アジアを利用して空路で入る。バスも飛行機も、祭日やスクールホリデー前後は帰省客が多く満席になることも多々あるため、注意されたい。

週の休日と季節についても留意が必要だ。トレンガヌ州はイスラームの休日にあわせ週休を金曜日とし、また官公庁の場合土曜日が休みになるところもある。他方、民間会社はクアラルンプール時間に合わせるケースも少なくない。事前に確認されたい。また11月から2月の雨季には交通ダイヤが乱れることもあるため、計画には一考が必要であろう。

クアラトレンガヌの街にはホテル、銀行、インターネットカフェ(日本語読み可)、スーパー、病院・クリニック、また文具屋・コピーセンターなど日常に必要なものは一応揃っている。ただし両替商が少なく、あらかじめリングを用意しておくか、トラベラーズチェックを使用する必要がある。シティバンク系銀行で海外でも使えるキャッシュカードを作っておくと、ATMが利用できて便利だ。